

本時のねらい

- ・片仮名を文の中で使うことができる。
- ・語と語の続き方に注意することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・シンキングツールを活用して、述語としてつながる言葉を連想して先に考えさせておくことで、考えの視覚化ができたり、語と語をつなぐ助詞に、より意識を向けることができ、豊かな語彙と表現で文を考える。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Chromebook
- ・授業支援ソフト（ロイロノート）
- ・アンケート集計用ソフト（Google フォーム）
- ・プロジェクター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	・前時までの振り返りと本時のめあてを確認する。 「かたかなで書くことばが入った文を作ろう」	
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の仕方の見本を見る。 (「バナナ」を例に、児童全員と一緒に考える。) ①片仮名で書くことばの後に続く言葉を考え、出てきた言葉をシンキングツール（くまでチャート）に書き込む。 (例 たべる、かわをむく など) ②ロイロノートのカードに考えた言葉を使って文を書く。 (例 ゾウがバナナのかわをむいてたべる。) ※この時、文を書く時のポイントを示す。 ○「だれが」「なにが」を書く。 ○ことばとことばをただしくつなげられるようにかんがえる。 (○「バナナ」+「たべる」→「バナナをたべる」) (×「バナナ」+「たべる」→「バナナにたべる」) ○あとにつづくことばは、2ついじょうつかってもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に示された片仮名から1つ選び、上の①②の手順で文を作り、できたものをロイロノート上で提出する。 (※1つ作った児童は、2つ目を自分で考えるか、他の児童が提出したチャートを参考にして、2つ目以降を考える。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・見本は教員用端末の画面をプロジェクターで投影し、児童に示す。 ・ロイロノートにあるシンキングツールを活用する。 ・児童が発表したものを教員が書き込み、プロジェクターに投影しながら使い方を示す。 ・ロイロノート上で、①で使った「くまでチャート」にテキストカードを一枚つなげて追加し、そこに文を書くように説明する。 (※操作の仕方を事前に画面録画で撮影しておき、児童に送ることで、あとで見返せるようにしておく。) ・文を作成する際のポイントを書いたカードをロイロノートで児童に送ることで、必要な時に自分の手元で見られるようにする。 ・1つ目のくまでチャートは書く場所などを示したものを用意し、児童に送る。(2つ目は自分で用意させる。)
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・作った文を発表する。 ・ふりかえりを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表児童の画面をプロジェクターで投影するとともに、画面を配信して、各児童の端末でも見られるようにする。 ・アンケート集計用ソフトを用いて、今日の授業における理解度や、気付いたことなどを問う内容の振り返りを入力する。

1人1台端末を活用した活動の様子

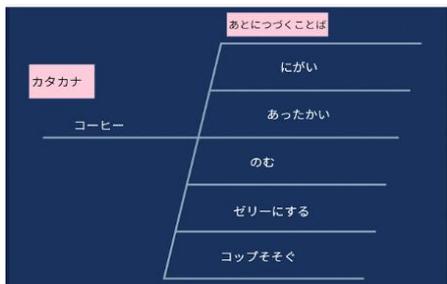


写真1：児童が実際に書き込んだくまでチャート

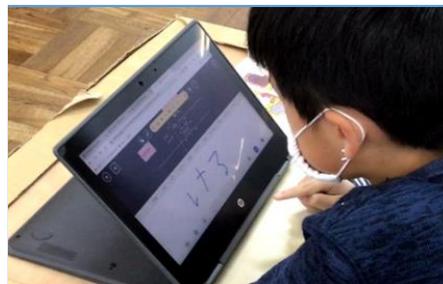


写真2：くまでチャートで後に続くことばを考えている場面



写真3：文を作って、ロイロノートのカードに打ち込んでいる場面

児童生徒の反応や変容

- ・片仮名で書かれた言葉から直接文を考えるのではなく、述語となる言葉を先に考えておくことで、文作りをスムーズに行うことができた。また、使う言葉を可視化することで、助詞に意識を向けたり、「かわをむく」と「たべる」を「かわをむいてたべる」とつながりを意識して言葉を変えたりすることができていた。
- ・2年生は「手書き入力」と「かな入力」を用いているが、まだ入力に不慣れな児童もあり、文を考えられてはいるが入力に時間がかかるという児童もいたので、こういった活動を進めていくには、入力により慣れていく必要があると感じた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・文を作らせて発表させるというだけの活動ではなく、シンキングツール（くまでチャート）を用いて考えを可視化することで、文を作るまでのプロセスに対する支援を行うことができ、よりたくさんの考えを引き出すことができた。
- ・授業のふりかえりを、アンケート集計用ソフトを用いて行うことで、児童一人ひとりのふりかえりをデータ化することができ、指導に生かす評価として活用することができる。